

# 「情報検索の知識と技術 基礎編」正誤表

2015/9

以下のとおり、お詫びして訂正いたします。

項番	ページ	場所	誤	正
第1章	p.6	③の4行目	JAS規格（日本農林規格: Japanese Industrial Standards）	JAS規格（日本農林規格: Japanese Agricultural Standards）
	p.7	1行目	権利存続機関	権利存続期間
	p.21	8行目	JDream	JDreamIII
	p.23	10行目	「国際標品コード」	「国際商品コード」
	p.24	1行目	「出版物をによって網羅的に」	「出版物を納本制度によって網羅的に」
	p.26	15行目	日経テレコン 21	日経テレコン
	p.29	表 1-4	スッフ	スタッフ
	p.31	問1の問題文	問1次の文章の(1)から(5)に入る  一方画像系のように、文字情報以外の画像や写真で構成されている出版物は、(3)で読み取ることができない。また、(4)は一次情報データベースを検索するためのもので、具体的には(5)がある。	問1次の文章の(1)から(6)に入る  一方画像系のように、文字情報以外の画像や写真で構成されている出版物は、(4)で読み取ることができない。また、(5)は一次情報データベースを検索するためのもので、具体的には(6)がある。
第2章	p.41	1行目	プダウン	プルダウン
第3章	p.59	小見出し	「(5)検索のコツ」	「(6)検索のコツ」
	p.67	18行目	表 3-3	表 3-5
	p.67	表 3-5	日経テレコン 21	日経テレコン
	p.72	図 3-18	Wayback Machineで見つかった社団法人科学技術協会の 2000/2/29 のホームページ	WARPで見つかった社団法人科学技術協会の 2002/10/31 のホームページ
	p.73	表 3-10	一般雑誌記□	一般雑誌記事
	p.76	問 2		[解答群] に「h. ディスカバリー・サービス」を追加
第4章	p.108	5行目	反映永久的	半永久的
練習問題解答と解説	p.118	問 1	(5) ローカル IP アドレス	(5) ローカル IP アドレス
	p.122	【第1章】 問1の解答	(1) f (2) d (3) e (4) b (5) a	(1) f (2) c (3) d (4) e (5) b (6) a
	p.123	【第3章】 問2の解答	(4) c	(4) h
	p.123	【第3章】 問3の解答	(2) e (4) d	(2) b (4) i

## 紙雑誌から電子ジャーナル～ そして、オープンアクセスへ

大学図書館での雑誌の受入は、もともと紙雑誌の雑誌タイトルごとの契約であった。まだ雑誌の電子化が途上の頃電子ジャーナルは無料で提供されていたこともあったが、エルゼビア社やシュプリンガー社などの大手学術出版社の学術雑誌の電子化が進むにつれ、当初無料で提供されていた電子ジャーナルを有料で提供し、紙雑誌と電子ジャーナルは別の契約となっていた。

電子ジャーナル導入初期の契約方法は、「雑誌タイトルごとの有料化」であったが、次第にその出版社のすべてのタイトルを購入する包括契約が広がった。一般に包括契約の価格は個々の雑誌を購入する場合の総額よりも高額に設定されている。しかも雑誌価格は毎年上昇するため、大学図書館の予算は逼迫してきている。

雑誌価格の高騰により、図書館による雑誌の

購読が困難になる現象をシリアルズ・クライシスと呼んでいる（シリアルズとは逐次刊行物、この場合は学術雑誌の意味）。シリアルズ・クライシスに対抗するために、研究者や図書館団体は、「研究者等によるオープンアクセス運動」や「図書館団体による価格交渉」を展開している。

オープンアクセス運動は、2000年頃に始まった。これは学術論文を誰でも無料で閲覧できるようにしようという運動である。オープンアクセスを実現する手段としては、著者が掲載料を払って無料公開する方法と、大学等の機関リポジトリで無料公開する方法がある。

一方、図書館団体による価格交渉では、高騰する価格に歯止めをかけるために、国立大学図書館協会等がコンソーシアムを形成し、主要な出版社との団体交渉を行っている。